

南丘小学校だより

がおかっ子

□南丘小学校 めざす子ども像□

「心身ともに健康で、一人一人が生き生きと輝く子どもの育成」

徳 やさしく 思いやりがあり、心がやさしい子ども

知 かしこく 進んで学び、自分のよさを生かそうとする子ども

体 たくましく 元気なあいさつ、元気な遊び、働く喜びをもつ子ども

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

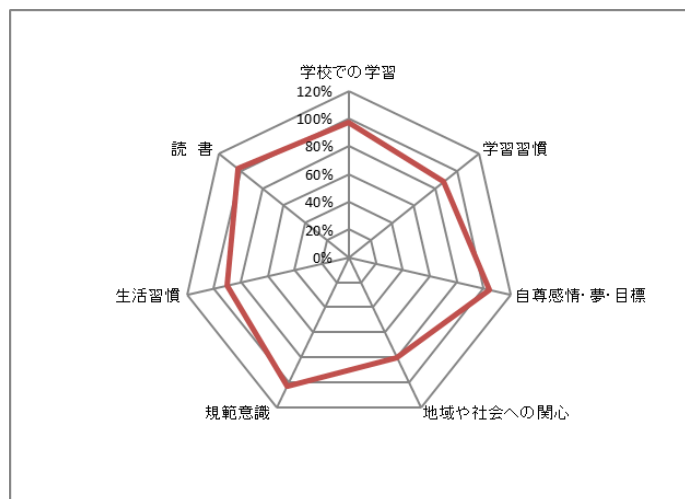
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	「話すこと・聞くこと」の領域についてはよくできていたが、「読むこと」の領域においては努力が必要である。学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う問題や文の中における修飾と被修飾との関係を捉える問題については、全国平均正答率と比べ、低かった。	下回っている
算数	「図形」の領域についてはよくできていたが、「変化と関係」「データの活用」については努力が必要である。・データを二次元の表に分類整理する問題や帯グラフで表された複数のデータを比較する問題については、全国平均正答率と比べ、低かった。	下回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- ・家で自分で計画を立てて勉強をしているが、普段(月～金)や土・日の学校の授業以外の勉強時間が少ない傾向にある。
- ・携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束をしたことを守っている児童の割合が低かった。また、1日当たりのテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯電話等のゲームも含む)の時間も長かった。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか。」の問いに肯定的にとらえている児童の割合が増え、全国と同じくらいになった。「将来の夢や目標を持っていますか。」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」については、全国平均を上回った。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・「話し合い活動」「振り返り」の場を設定し、自分の考えを広げたり深めたりするようにする。
- ・全校一斉の読書タイム(10分間)を設定し本を読んでいる。読んだ後は「読書記録カード」に題名やおもしろさ等を記入し、読書スタンプラリーに全校で取り組むようにする。
- ・月・火曜日に全校一斉のパワーアップタイム(15分間)を設定し、基礎学力の定着や学力の向上を図る。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・「家庭学習チャレンジハンドブック」や「南小倉中学校区家庭学習のすすめ」を活用し、家庭学習の指導・支援を行う。
- ・自主学習を推進し、自学自習の習慣を身に付けるようにする。